

人手不足で転機、次は貢献

篠原大輔

松江北高1995年卒、46期

株式会社日立コンサルティング マネージャー



人手不足を解消するためのロボット・ドローンの導入コンサルティングサービスを立ち上げています。

1. 転機

私は新卒から20年間、飲料メーカーで働いていましたが、約5年前にコンサルタントに転職しました。転職できた背景には、人手不足によりコンサル業界の求人が増えていたことがあります。

企業はDX（デジタルトランスフォーメーション：デジタル技術を活用し、業務の効率化と新たな価値創出を目指す取り組み）で人手不足を解消しようとしていますが、それを実行するコンサルタント自体も不足しています。

十数年前に転職を考えた際には「年齢的に賞味期限切れ」と言われたのに、今では人材不足が追い風となり、求められる立場になっています。

実際にコンサルタントとして企業に入ると、人手不足の深刻さを痛感しました。少子化に加え、就職氷河期の影響で40～50代の管理職層も不足しています。

デスクワークではDXの進展により業務効率が向上し、日本の生産性は改善しつつあります。しかし、肉体労働の分野の人手不足解消はあまり進んでおらず、高齢者や外国人の労働者で補っている状態です。

2.貢献

この課題の解決策の一つがロボットやドローンです。
人手不足を補い、限られた人材で業務を回せるよう支援します。

例えば、

- 介護：移動支援・見守りロボット
- 物流：自動搬送ロボット・ドローン配送
- 農業：自動運転トラクターやドローンによる農薬散布
- 接客業：配膳ロボットや無人店舗システム
- インフラ点検：ドローンによる橋梁や電力設備の点検

しかし、導入には「どこに活用すべきか分からない」「投資対効果が不明」「安全性や法律の問題」といった障壁があります。

そこで、DXの知見を活かし、効果的なロボット導入コンサルティングを提供し、国内外に展開していきたいと考えています。

仕事とは別に、ドローンは趣味としても始めました。飛ばしていると空を飛んでいる気分になり、操縦技術も磨ける楽しい趣味です。

最後に、松江城～北高をシミュレーターで空撮した動画をお送りします。

<松江北高校空撮(ドローンシミュレータ)のYouTube動画>



⇒[こちらをクリック](#)

この動画はコンピュータ上のシミュレーターで撮影したもので、現実と同じ映像を撮影するには、各種の法律な規制をクリアし、土地所有者や管理者の許可を得る必要があります。

そのため、実際に飛ばすには多くの手続きが必要です。



ドローンによるドローン撮影



芦ノ湖での遊覧船空撮



ドローンの操縦中